



## 新型コロナウイルス対策！！！！てるしのでは...

てるしのワークセンターでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために4月10日から5月末まで、利用時間を午前中に、作業室の人数を制限、職員の在宅勤務、館内の清掃・消毒などを取り入れ対策をとってきました。

利用者さんからは、「身体の弱い母親に感染させてしまったら不安」「家にずっといるのはつらい。てるしのに毎日行く生活のリズムで体調よかったので、通えなくなったら困る」「自分も行きたいけど、家族が感染を心配している」などの声があり、在宅作業をするひと、通所で作業を続けるひと、在宅と通所で作業するひと、それぞれのスタイルで仕事を続けました（お休みするひともありました）。てるしのある南部でも感染の情報があって、緊張が高まったときには、お弁当の注文販売・受け取りを配達先の駐車場でだったり、ぱんの出張販売も中止しました。5月の連休明けからは、感染防止対策をとって、てるしの農園で作った減農薬栽培の野菜やぱんの販売も復活しています(\*^▽^\*)

授産活動の売上が下がってしまうのが心配でしたが、前を向いてがんばるぞー、とお弁当班の女性メンバーが中心になって「スマイルマスクプロジェクト」を立ち上げ、布マスクを手作り！布や糸、ゴムが買いにくくなっている状況でも（..モノが買えない、こんなことになるなんてびっくりでした）みんなでアイデアを出し合って工夫して、素敵なマスクが出来上がり、完売しました。マスクチーム、楽しそうでした(\*▽\*)☆☆☆

そして6月、作業もほぼ通常モードにもどり、水曜日のレクリエーションも再開。バレーボール大会に向けて（開催できますように...!）練習、黄金森運動公園で野球、バスケットなど、「あかちち」のみなさんと一緒に楽しんでいます（「障がい者活動支援センター泉崎」が5月から「福祉サービス事業所あかちち」に名称変更、場所も泉崎から那覇市松川に引っ越しています。詳しくはにぬふあぶし次号で）。久しぶり思いっきり身体を動かして、コロナのストレス発散です!(^~)!

移動自粛も解除されましたが、第二波もどうなるか心配です。元気でいられるように、身体もこころも栄養と休養をしっかりとる、手洗いしっかり熱中症に気をつけてマスク、そして、体調がよくないときには安心して周りに伝えられる、もしも感染しても、感染した人が周りにいても落ちついて、安心して治療にとりくめる環境をつくってほしいと思います。

ペンネーム♪ぼんぼ~(\*´▽`\*)♪

はぴわん利用者  
からの声

モヤモヤすることを作品にしてつながろう



題名「バカじゃない？」

この作品が表す四角や丸はIQテスト問題を表しています。

推測でしかない知能指数で頭が良い悪いが決まるのでしょうか？

たった1ページの白紙で人生が決まり、高い知能指数が出るとその人は只それだけの人。

逆に低ければ発達障害、知的障害だと言われてしまいます。

ですが仮にそれが事実としても、これはおかしい。

数々の偉人だって発達障害となっているにも関わらず『天才』として貢献し、持てはやされているではありませんか。

私たちは矛盾でしかない。

IQが高い人は逆に貢献や邁進することはありません。だって、そうなっているのですから。です。

**この作品に皆さんの思い『ラクガキ』を描いてください！**なんだって構いません。

クレヨンだろうが鉛筆だろうが、あなたが感じた『何で』をたくさんたくさんラクガキしてください。その時には感謝のありがとうを添えて・・・・・・・・



作者 西銘勇河

\*上記作品をはぴわん施設内に展示しています。



はぴわんに遊びに来た時は、お気軽に「ラクガキ」してみませんか？  
ラクガキを通して、つながりを感じた時に何かが変わる！



## 活用していますか？沖福連のホームページ

日本のインターネットの普及率が94%になる状況をご存知でしたか？現代日本人が1日に触れる情報量が「平安時代の一生分」であり「江戸時代の1年分」にあたるそうです。普段の暮らしの中でインターネットに触れるのが当たり前になっている状況は、時間と共に生活は豊かになっているのでしょうか？皆さんはどのように表現しますか？「インターネットがあるおかげで！」なのか「インターネットのせいで・・・」。

さて機関紙にぬふあぶしを御覧の皆さんは、沖縄県精神保健福祉会連合会（沖福連）の情報をインターネットで検索したことがあるでしょうか？

公益社団法人  
沖縄県精神保健福祉会連合会

TEL. 098-889-4011  
FAX. 098-888-5655

メールは  
こちら

[沖福連について](#)

[お知らせ、新着情報](#)

[各地の事業所](#)

[アクセスマップ](#)

[お問い合わせ](#)

### 沖福連について

[トップページ](#) > [沖福連について](#)

#### ごあいさつ

沖縄本島中部の具志川市にあった精神療養者家族会に関わり始めたのは、その家族会が運営する作業所で、役所に提出する報告書やその他の書類の作成を依頼されたことがきっかけでした。その後、具志川市と石川市、勝連町、与那城町が合併してうるま市になり、作業所運営の委託を受けるためには法人でなければいけないとのことで、市内四か所の家族会を統合して「特定非営利活動法人うるま市心の健康を守る結の会」を設立し、継続してお手伝いしています。法人の代表が理事として沖福連に関わっていて（副会長から会長になっていた）任期を終えるにあたり、うるま市家族会からの理事として代わりに私が務めることになったのです。

一番忙しいのが事務局長。対外的な顔として務めるのが会長。一番暇で、せいぜい時々会長の代わりに務めるくらいということで気楽に副会長として過ごしていたのに、このたびは会長を受けることになりました。



[トップページ](#)

[法人の年間予定](#)

[広報誌「にぬふあぶし」](#)

[地域生活体験事業\(旧入院\)](#)

[介護職員初任者研修](#)

[こころんピック・沖縄県精神](#)

[書籍「消された精神障害者」](#)

[スタッフ募集](#)

\* 沖福連 HP より

インターネットで「沖福連」と検索すると上記ホームページを確認することができます。



沖福連に関連する情報が盛りだくさん！

今回は、沖福連ホームページ（トップページ）にある項目より

『漫画のダウンロード』情報について、改めて次のページでご案内したいと思います。

# 「拘束」孤独と不安で押しつぶされそうに 11日間体験の女性が漫画に



身体拘束された患者はどんな気持ちなのか。精神科病院で11日間拘束された、なかむらなつみさん(34)＝沖縄県宜野湾市＝が実体験に基づいた漫画「拘束」を描き、10月下旬に沖縄県であったシンポジウムで発表した。なかむらさんは「拘束されると、孤独と不安で押しつぶされそうになる」と訴える。

なかむらさんは数年前、解離性障害に伴って記憶が途切れ、知らないうちに道路に飛び出そうとしたところを保護された。搬送先で目覚めると、両手足と腹部をベッドにくくりつけられていた。運ばれた経緯は覚えておらず、体のあちこちが痛んだという。

拘束中は体を動かせない。寝返りも打てず、夜中に何度も目が覚めて寝不足になった。トイレに行くことも許されず、ベッドの上でおむつに用を足すしかなかった。

病室に1人でいると寂しくなり、何度も「今、大地震が起きたら、誰も来てくれないかも」と考えた。わざと頻りに水分補給して尿意を促し、おむつ交換に来た看護師に話し相手になってもらった。自分では「もう落ち着いたから大丈夫」と思っても、医師が解除を判断するまで拘束は11日間続いた。なかむらさんは「拘束がいいのか悪いのか、私には分からない。でも、医師への不信感があると、素直に話ができず、気持ちが苦しくなる。拘束するなら医師と患者の信頼関係が大切だと思う」と語った。

＝2018/11/26付 西日本新聞朝刊より＝

**\* 上記の漫画「拘束」は、沖福連のホームページからダウンロードできます。**

## ◎編集後記◎

インターネットの中で会議する「web会議」に参加してみた。遠方にある会場に行く手間が省けて便利だが、何か足りない。コミュニケーションは五感で行っていたことに改めて気づく今日この頃 (か)

編集：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1  
てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail [terushino@castle.ocn.ne.jp](mailto:terushino@castle.ocn.ne.jp)

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定 価：10円(会費に含まれる)